

2017-2018 ボブスレー競技 国際競技会派遣選手選考基準

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

【選考手続】

2017年-2018年ボブスレー競技国際競技会への派遣選手は、以下に定める選考基準（以下「本選考基準」という。）に基づいて公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（以下「日本連盟」という。）競技委員会が選考し（以下「本選考」という。）、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て決定されるものとする。

【派遣対象競技会】

派遣対象競技会は、国際ボブスレー・スケルトン連盟（以下「国際連盟」という。）の開催する2017年-2018年シーズン（以下「今シーズン」という。）のIBSF World Cup（以下「WC」という。）、Europe Cup（以下「EC」という。）のうち、以下の競技会とする。

- ① WC 第1戦から第8戦まで
- ② EC 第1戦から第8戦まで

※ 今シーズンにおける日本の派遣枠数は次のとおりである。

- ① WC（男子0、女子2）
- ② EC（男子4、女子4）

【基本方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待でき、日本連盟が「2018年平昌五輪に向けたボブスレー競技選手選考計画」において掲げる平昌五輪での目標を達成できる可能性を有する選手又は北京五輪で活躍が期待される次世代を担う有望な選手を選考することとし、具体的には派遣対象競技会ごとに以下の方針に従って選考する。
 - ① WC 平昌五輪での目標（男子8位以内、女子8位以内）を達成する可能性を有する選手及び可能性の有無の見極めが必要な選手
 - ② EC 北京五輪での活躍が期待される次世代を担う有望な選手
2. 女子チームは、ECへの派遣対象となり得るパイロットの選手がいないことから、今シーズンはWCにのみ派遣する。
3. 「日本連盟登録競技者・スタッフ行動規範」を遵守し、日本連盟を代表するに相応しい選手を選考する。

【評価対象記録会】

本選考における評価対象記録会は次のとおりとする。

- ① 2人押しプッシュボブスレー
 - 平成29年5月10日（水）から14日（日）長野スパイラル
 - 6月14日（水）から18日（日）長野スパイラル
 - 8月16日（水）から20日（日）長野スパイラル
 - 10月11日（水）から15日（日）長野スパイラル
- ② ドイツ式コントロールテスト
 - 平成29年5月10日（水）から14日（日）長野スパイラル
 - 6月14日（水）から18日（日）長野スパイラル

7月17日（月）から28日（金）ケニグゼードイツ軍施設
8月16日（水）から20日（日）長野スパイラル
9月1日（金）から12日（火）ケニグゼードイツ軍施設
10月11日（水）から15日（日）長野スパイラル

※ドイツ式コントロールテスト内容

- ①60m スプリント、②30m スプリント-15kg 負荷走、③両脚5回跳び
- ④バウンディング交互10歩、⑤立ち幅跳び、⑥フロントスロー

【選考基準】

1. WC 派遣選考基準（女子）

- I. パイロットについては、昨シーズンのWC最終戦終了時点において国際連盟が発表するIBSFランキング上位2名を派遣対象選手とする。
- II. ブレーカーについては、評価対象記録会における「2人押しプッシュボブスレー」及び「ドイツ式コントロールテスト」の記録をヘッドコーチが総合的に考慮して、上位4名を派遣対象選手とする。

2. EC 派遣選考基準（男子）

- I. パイロットについては、昨シーズンのEC最終戦終了時点において国際連盟が発表するIBSFランキング上位1名を派遣対象選手とする。
- II. ブレーカーについては、評価対象記録会における「2人押しプッシュボブスレー」及び「ドイツ式コントロールテスト」の記録をヘッドコーチが総合的に考慮して、上位2名を派遣対象選手とする。

【派遣に関する制限】

本選考基準に則り選出された選手であっても、以下の場合には、国際競技会への派遣が制限され又は取り消される。

- 1. 国際連盟による各派遣対象競技会の出場資格を満たさない場合
- 2. 病気又は怪我により競技に著しく支障があると認められる場合
- 3. 法令又は「日本連盟登録競技者・スタッフ行動規範」に違反し、日本連盟を代表するに相応しくないと認められる場合

以上